

# 規模決定根拠(基本仕様書)

建設予定地	: 179m×85m (面積 15176㎡)	: 土地の位置図及び購入契約書 (写し)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現棟 (有明商事で栽培) の道向かいの近隣地を、H30年9月に整備事業で土地 (種目 畑) を約1.5ha購入済み。</li> </ul>		
ハウス本体 (管理棟)	: 準備室24m×5m=120㎡ (×2室 計240㎡)	: 平面図 (管理棟のみ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1室で10連棟分のIK養液灌水システム (灌水制御盤、EC制御盤、原液タンク×2種×2台)、高圧細霧ミスト用動噴・タンク、統合環境制御盤の配置スペース 作業スペース合わせ 5m×12m=60㎡ (タンク基礎等のためコンクリート張り)</li> <li>・1室 (10連棟分) の通路スペース 幅3m×5m=15㎡</li> <li>・1室 (10連棟分) の収穫物置場 ピーク時1日3600kg ⇒120コンテナ×0.3㎡÷3段積=12㎡ 作業スペース 2m×5m=10㎡</li> <li>・1室 (10連棟分) の養液栽培用肥料置場 3パレット×1パレット4㎡=12㎡ 作業スペース 2m×5m=10㎡</li> </ul>		
ハウス本体(栽培棟)	: 8m×20連棟×奥行72m 誘引高3.3m	: 平面図 (ハウス全体)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウス構造は、強い農業作り交付金の採択条件である『低コスト耐候性ハウス (耐風速50m/s)』を満たすものとする。(日本施設園芸協会の規定に準じる)</li> <li>・ハウス規模は、給油車が補給可能な幅7m以上 (ハウス周り) 確保することを考慮し、160m×奥行72mとする。</li> <li>・ハウスは、10棟分 (真ん中) で仕切りを入れ、2棟分割管理できるようにする。</li> <li>・ハウス中央に3mの通路をとり、10連棟の中でも2ユニット管理 (ユニット間の互換性を持たせる) する。ハウス中央通路より作業台車レール走行を走らせ、高所作業車等の移動をスムーズ行うためにも、中央通路はコンクリート張りとする。3m×160m=480㎡</li> <li>・ハウスの軒高は、作業効率性及び採光性を鑑みて誘引高で3.3m程度を確保する。</li> <li>・高所作業台車を使用し誘引を行う為、各ガーターに対してレール設備 (98レーン) を設置する。</li> <li>・屋根に関しては、丸屋根 (換気設備を含む) 及びフェンロータイプ同等のものとする。</li> <li>・被覆資材は、エフクリーンまたは同等のものを主材料で使用する。</li> <li>・カーテンは遮光カーテン (ハウス平面積11520㎡に屋根に向かい斜め張りするため約15000㎡)、保温カーテン (ハウス平面積11520㎡に屋根に向かい斜め張りするため約15000㎡) を設置する。</li> </ul>		
独立ポット耕システム	4台 98レーン×2ユニット 32,140ポット	: IKポット耕配置図、カタログ、実績表
<ul style="list-style-type: none"> <li>・灌水制御盤を使い、4系統で管理する。(各管理棟に2系統ずつ)</li> <li>・ガターは、1棟5レーン (条間1.6m程度) とし、10連棟で49レーン×2ユニットとする。(20連棟で98レーン)</li> <li>・10連棟49レーン (1ユニット) の長さは、39レーンが33.46m、10レーンが32.46m (暖房機の影響で短い部分有り)</li> <li>・ガターの株間は0.2mで、33.46mのレーンでは1列165ポット、34.26mのレーンでは1列160ポットを計画しており、総ポット数は、(39レーン×165ポット+10レーン×160ポット) ×2ユニット×2棟 (10棟分) =32,140ポット。</li> </ul>		
複合環境制御システム	2台×2系統	: カタログ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟2室に各1台 (10連棟に1台) で各2系統で個別管理。</li> </ul>		
高圧細霧ミスト設備等	20ライン	: カタログ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飽差制御に必要な値は適正な値は3g/㎡~7g/㎡ 吐出水量 (分) : 30~90CC/分の高圧細霧ミスト 1棟につき1レーン 20連棟×1レーン=20レーン (循環扇を利用して管理していく)</li> </ul>		
循環扇	40台	: カタログ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・到達距離50m。1レーンの奥行約35m (高圧細霧ミストに沿って) につき、2台配置し対応。 20連棟×2台 (各棟2レーン) =40台 首振り機能で1棟の幅8mをカバー。</li> </ul>		
暖房炭酸ガス設備	8台	: 暖房負担計算書・炭酸ガス濃度計算書
<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房機は下記計算の熱量を満たす同等品を使用する。</li> <li>・8m×20連棟×奥行72m×棟高6m (誘引高3.3m) に対して、出力145kw {125000kcal/ha} ×8台で対応する。 最大暖房負担に対する割合 113% *詳細はオボン(株)作成の暖房負担計算書に記載</li> <li>炭酸ガス機は下記計算を満たす同等品を使用する。</li> <li>・8m×20連棟×奥行72m×棟高6m (誘引高3.3m) に対して、能力8.07kg (h・基) ×8台で対応する。 *詳細はオボン(株)作成の暖房炭酸ガス濃度計算書に記載</li> </ul>		
換気扇設備・防虫ネット	20台	: カタログ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸屋根の場合は、換気及び耐風圧のために1連棟につき1台換気扇及び防虫ネットを完備する。</li> </ul>		
高所作業車走行レール等	196走行レーン 高所作業車・収穫台車	: IKポット耕の配置図参照
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガターに対して誘引高所作業車用の走行レールを設置する。5レーン×20連棟-両端2レーン×2ユニット=196レーン 走行レーンの想定距離は、(33.46m×39レーン+32.46m×10レーン) ×2ユニット×2棟 (10棟分) ≒6600m</li> <li>・下記の通り、1日の誘引ポット数≒高所作業車6台での作業量となるため6台となる。 1日の誘引ポット数: 総ポット数32,140p/誘引周期10日≒3,214p 高所作業車 (レール式) 6台での1日の作業可能量: 6台 (6人) ×8時間/1pにかかる作業時間1.5分≒4,800p ≒3200P</li> <li>・下記の通り、収穫を行うため収穫用作業台車2台が必要となる。 1日出勤人数は12名。中央レーンを挟んで2レーンあるため作業性を鑑み一人作業台車2台 12人×1台=12台</li> </ul>		
雨水用U字溝	416m	: 平面図 (ハウス全体)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウスに沿って (ただし管理棟の前は除く) 160m×2+奥行72m×2-管理棟部分24m×2=416m</li> </ul>		